



国土交通
大臣賞



データマネジメン
トと現場力の融合
による維持管理の
効率化・高度化



道路分野

三条市 社会資本に係る包括的維持管理業務 (嵐北地区)

取組概要

本業務は、市中心部を含む「嵐北地区」において、三条市が管理する道路、橋梁、公園、水路といった複数分野を跨いだ日常的な維持管理について、「複数年契約」でまとめて発注する、分野横断型の包括的民間委託にいち早く取り組んだ業務である。細かい対応を含めて年間2,000件を超える現場対応が一つの契約でカバーされている。「性能規定」を採用した本業務は、現場対応において民間（嵐北維持JV）に自由度が与えられた中で、官民連携の下で試行錯誤を繰り返しながら持続可能な維持管理体制の構築に取り組んできた。

受賞理由

民間側で自由度のある対応ができる仕組みを確立し、AI点検やタブレットを活用したパトロール支援などの新技術活用等に積極的に取り組み、業務の効率化・高度化を図っている点が評価された。

取組のポイント

本業務の取組によって、インフラ老朽化の進展への対応が求められる中で、建設業者の減少、現業職の退職不補充等の担い手不足といった課題に直面する多くの自治体に対して、官民連携の下で持続可能なインフラ維持管理への転換につながる一手法（先導的な包括委託事例）を提示してこられたと考えている。官民連携の肝である自由裁量が民間（嵐北維持JV）に与えられており、この仕組みを活かしてAI点検やタブレットを活用したパトロール支援などの新技術活用や改善活動に積極的に取り組んで業務の効率化・高度化を図っている。

受賞者について



受賞者

パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社外山組、株式会社久保組、マルモ建設株式会社、株式会社イグリ、株式会社山田電気、株式会社向陽園

コメント

私たち共同企業体は、包括委託に取り組むにあたり、三条市の導入方針である「市民・自治会」、「三条市」、「民間（企業体以外の地元企業含む）」の「3方良し」を強く意識して取り組んできました。

包括委託はまだ事例が少なく、事業開始からしばらくは手探りの状況でしたが、企業体内での議論や官民のコミュニケーションを重ねながらここまでの道のりを歩んできました。

今後も官民の協力の下で、地域インフラの維持管理の担い手としての役割を果たしていきたいと考えています。

団体概要

三条市発注の「嵐北地区社会資本に係る包括的維持管理業務委託」（第2期：平成31年4月～令和6年3月）を受注した共同企業体。引き続き、令和6年4月から始まった第3期（令和6年4月～令和11年3月）も同じ体制で対応を継続しています。

問い合わせ先

パシフィックコンサルタンツ株式会社
交通基盤事業本部 インフラマネジメント部
03-6777-3856